

「頼朝の鎌倉、家康の鎌倉」シリーズ1 江戸時代の鎌倉①

鶴岡八幡宮⇒薬王寺⇒英勝寺



いつものように朝9時に金沢文庫駅に集合です。
曇り空の中、17名が参加して出発しました。
講師の大貫昭彦先生と鎌倉駅で合流し、段葛を歩いて鶴岡八幡宮へ向かいました。
暑くもなく、のんびりと気持ちよく歩きました。
何度も訪れている鶴岡八幡宮ですが、江戸時代に視点を向けてみると新たな発見がいくつもありました。



鶴岡八幡宮摂社の丸山稻荷社は、少し空気感が違います。
本宮遷座以前からこの地に祀られていました。
境内最古の建物（室町期）で、重要文化財に指定されています。

英勝寺は、家康の側室お勝の方が開いたか鎌倉唯一の尼寺です。
お勝の方は太田道灌の子孫で、3代将軍家光の時に道灌の屋敷跡地を賜り創建されました。
仏殿で講師から説明を受けるとともに、疲れた足を休めることができました。



山門は通常非公開ですが今回は特別に上に登らせていただき、釈迦如来像と十六羅漢像を拝観しました。
仏殿・山門をなど江戸時代前期の建築がほぼそのまま残り、重要文化財に指定されています。
庭園にはアジサイが咲き始めていました。



今回はほとんど平坦な道でしたが、良く歩きました。
皆さんお疲れになったことでしょう。